

膽八樹

〔佐渡志^五物産〕枳根 方言ケンボンナシ

山中所々ニアリ、相川ニテハ中尾山ニアリ、

〔重修本草綱目啓蒙^{二十三}〕篤癭香^略○中

附錄、膽八香、ホルトガルノ油

波爾杜瓦爾^{ホルトガル}ハ蠻國ノ名ナリ、紅毛人コノ地ヨリ采リ來ル、故ニホルトガルノ油ト云、コノ樹本邦

暖地ニ多シ、喬木ナリ、寒地ニ移シ栽ルモ育シ易シ、俗名ヅク^ノノキ、紀州シラ^ノノキ、九州モウガシ、薩州

バ^ノソ^ノ豆州シ^ノイト^ノギ、阿州葉ハ楊梅葉ニ似テ薄ク、長サ三寸許リ、鋸齒粗ク互生ス、四季ニ葉換ル、

其落^トスル時色赤シ、故ニ年中紅葉相雜ル、夏葉間ニ枝又ヲ出シ花ヲ開ク、黃色ニシテ粉ノ如ク、

竹柏ノ花ニ似タリ、後實ヲ結ブ、長サ六七分、兩頭尖リ、樞實ニ比スレバ微シ、狹小、外皮ハ熟スト雖

ドモ綠色ナリ、内ニ厚核アリ、核中ニ仁アリ、是ヲ搾リテ油ヲ采ル、即ホルトガルノ油ナリ、蠻名ヲ

トリ^油メレイヒ、蠻産ハ實大ナリ、和産ハ小ナリ、近來續隨子ノ油ヲ以テ偽リ賣ルモノアリ、麻油

ノ如ニシテ色白シ、眞物ハ凝リテ色黄ナリ、混ズベカラズ、

〔伊豆諸島巡回記〕膽八樹 タンハチジュ

三宅島 島中ニ自然生多シ、方言チギ^ノノキト云フ、伊豆村滿願寺ノ山中ニ大木アリ、其實ヲ採リ

テ食フ者アリ、其材ハ以テ薪トス、

神津島 島中ニ多シ、大木稀ナリ、其材ハ薪トス、新島モ亦同ジ、

豆州諸島物産圖說ニ依レバ之ヲホルトガルト記ス、即チ之ヲ阿利^{オリ}襪^{ソク}ト同一視セリ、是レ誤認ス

ルニ似タリ、故ニ其全文ヲ寫録シ併セテ之ガ異種ナルコトヲ辨ズ、其說ニ曰ク、ホルトガル八丈

島山中處々有之、土名チギノキ、本草ニ所謂膽八樹是乎、ソノ樹冬青ニ類シテ、身幹端直、其葉尖長

ニシテ、淡綠色、冬ヲ經テ凋マズ、春夏新葉發スレバ、舊葉間々鮮紅ナリ、之ヲ望メバ丹青斑駁ニシ